

海老名市立東柏ヶ谷小学校 学校運営協議会 議事録
(令和7年度 第4回)

1 日時 令和7月10月1日（水） 16:00～

2 場所 海老名市立東柏ヶ谷小学校 ランチルーム

3 出席委員 芳賀敬子委員長、橋本絵美里副委員長、佐藤充明副委員長、海野望委員、柳下泰介委員、長井徹委員、逢地和孝委員、瀬戸口壯委員、増田英樹委員、青山廣文委員、守谷美子委員、高橋典嗣委員、小池一美委員、坂本佳菜委員

4 会議の内容

(1) はじめに

芳賀委員長：雨の中お集まりいただき、ありがとうございます。夏休み中、大きなけがなく2学期を迎えてよかったです。学校応援団のおかげで、2学期まで助けていただいている。秋運動会もお力を借り、進めていきたい。よろしくお願ひします。

(2) 学校長より

町田教頭：校長不在のため、教頭から挨拶。

夏休みの課題の中から、夏季作品ミニギャラリー展を開催した。5年野外教育活動、6年修学旅行は、担当から話をさせていただく。

夏季作品ミニギャラリー展

小久保総括教諭：今年初めて、取り組みたい児童の作品をランチルームに飾って、子どもと保護者が見た。保護者の方も3日間で50人程度集まった。子どもたちも作品を見る時間をとったときに、良い反応だった。

佐々木教諭：実施方法の変更により、作品が全て一か所に集約された状態で展示されており、一括して鑑賞できた点がとても良かったと感じます。

5年 野外教育活動 9/9～10 御殿場方面

菅野教諭：写真を見せながら説明。

準備から子どもたちは、モチベーション高く向かうことができた。

1日目は、富士山のクイズウォークラリーをしながら、楽しむことができた。「寒沢の源流を訪ねよう」は、蜂の出現により、「ハイパー・メガすごろく」に変更。2日目の「ふじさんぽ」は、天気にも恵まれ、富士山をきれいにみることができた。自然を感じていた。

学校では、味わえない体験をすることができた。戻ってきてからは、様々なことに感謝の気持ちをもつことができるようになった。

佐々木教諭：授業の中で、5年生が古着を集めている。集めた古着を別の商品にして販売する。

海野委員：どこで売るのか。

佐々木教諭：現段階では、学習発表会を予定している。

6年 修学旅行

関岡教諭：写真を見せながら説明。

バスレクから盛り上がった。初日は日光東照宮に行った。当日は暑かったが、家康の墓まで階段を上った。天気にめぐまれた。ハイキングの道中にサルが出た。ホテルでも楽しみながら、お土産を買ったり部屋で楽しんだりしていた。全員参加でき、恵まれた日程だった。

(3) 運動会について

関岡教諭：久しぶりの秋運動会にお力添えいただければと思う。テントの設営は、地域の皆さんに助けていただければと思う。二次作業については、当日詳しく話す。当日の朝は、テント張りからお願いしたい。保護者誘導や観覧席の案内をしていただく。昨年度は、椅子の足を拭いたが、今年度は時間短縮のため拭かない。

町田教頭：テントの個数は、資料に基づいて準備をお願いしたい。椅子の足つきは、クラスで行う。

芳賀委員長：敬老席がない。福祉席など名称を考えても良い。

逢地委員：テント運搬から、整列までの時間が短いのではないか。

関岡教諭、町田教頭よりテント運搬についての説明あり。

橋本副委員長：当日ランチルームの開放はされるのか。年配の方にランチルームを提供したい。

柳下委員：草刈りの時間と人数調整の把握が必要になる。

町田教頭：今年度の想定としては、草が伸びきっているところをお願いしたい。児童席を中心にお願いしたい。人数が分かればありがたい。今年度、集計して来年度につなげていけたらと思っている。

(4) 親子パトロール隊について

柳下委員：意識してビブスを着ていただいている。新入生の親子に渡すという活動を続けている。腕章ではなくしやすいため、缶バッヂ1200個で見積もりを出した。本日も雨の中、ビブスを着てあいさつ運動に参加した。学校に800個、残りは自治会に配付する。

芳賀委員長：応援団でも缶バッヂの案が出ているので、一緒にできたら良い。

(5) 海老名市フルインクルーシブ教育に関わる本校の取り組みについて

山下総括教諭：海老名市全体でインクルーシブ教育について進めている。「対話の場」でインクルーシブ教育について、みんなで考えていく。誰一人取り残さない教育を進めている。学級担任一人がクラスを見るのではなく、教職員がチームになり、みんなで子どもたちを見ていくようになった。いろいろな子を、全教職員で支えていこうという取り組み。海老名市全校で意識して取り組んでいる。

溝渕教諭：本校での取り組みについて。

まず、ひまわりルーム。教室でなかなか過ごせない子が今日一日どうやって過ごすか考える場所、落ち着く場所。ひまわりルームにいる教員と話して、頑張る気持ちに切り替える。

続いて、スマイルルーム。少人数で学習を進める。補助指導と呼ばれており、少人数での指導となる。

さくらルーム。外国籍につながりのある子どもに対して、日本語指導をする。学校応援団・ボランティアがいることで、保護者の安心感につながっている。

また、全職員で児童の共有をしている。SC（スクールカウンセラー）やSSW（スクールソーシャルワーカー）との情報共有をする。学級の中では、掲示物の工夫としてフロントゼロ（教室前面の掲示物をなくすことで子どもが授業に集中しやすくなる取り組み）を実施している。座席の配慮や視覚的配慮や聴覚的配慮をしている。東柏ヶ谷小学校の特色として、低学年から教科担任制で授業をしている。

インクルタイムとして、高学年の先生が支援級に入るという取り組みをしている。

※各グループで各委員からの感想等を共有する。

（6）報告

・年度始めからの学習支援ボランティアについて

町田教頭：丁寧に対応していただき、感謝している。

橋本委員：現在6名のメンバーの中で、1日3名程度で続けている。友だちとのかかわりや支えあいを感じる場面が多い。図工の授業で、友だちの良いところを伝え合うという雰囲気が良い。次第に難しくなっていくことなので、続けていけたらと思っている。

・避難所運営訓練について

町田教頭：何かあったときに、皆さんのお力をかしていただきたい。

・その他

・海老名市コミュニティ・スクール研修会 10/6(月)午後 市役所

・東柏ヶ谷ふれあい作品展、子育てマルシェ

・第40回三世代交流グラウンドゴルフ大会 1/21(水)午後 近隣公園

(7) おわりに（学校運営協議会副委員長）

佐藤副委員長：草刈りのご協力お願いします。大塚ふるさとまつり、見守りも含めてよろしくお願いします。次回もよろしくお願いします。